

平成30年度事業計画

当協会は、「売れるものづくりを支援する」、「生産者と消費者の信頼関係を築く」、「すぐれた県産農産物を広く紹介し、販路拡大に努める」との基本方針のもと、各種イベントの実施や消費者との交流を通じて県内外の実需者や消費者に対し、県産農産物のイメージアップ、信頼感の醸成などに努め、県産農産物のブランド形成を進めている。

栃木県産農産物は、大消費地に隣接した有利な立地条件のもと、農業生産額全国第9位であるものの、消費者からは一部の品目を除き栃木県の農産物へのイメージ浸透が必ずしも高くないのが現状である。

このような状況の中、県産農産物のブランド力を高めるため、「スカイベリー」、「なすひかり」、「とちぎ和牛」、「にっこり」の4品目について、リーディングブランドとして位置づけ、県および関係団体と連携を図りながら諸事業を進める。あわせて、県農産物のオリジナル品種を中心に生産振興およびブランド向上を図ることで栃木の農産物全体のイメージアップ・信頼性向上につながることから、各種事業の重点化・効率化に努めながら、以下の4事業を展開する。

また、本年4～6月にかけて実施される「本物の出会い栃木 destinations キャンペーン」が開催されることから、同キャンペーンと連携した取組みも視野に事業を実施する。

1 産地づくり支援事業 20,638千円（前年20,123千円）

消費者が求める安全・安心な農産物の生産とマーケットイン産地の育成を基本に、いちご、野菜、果樹、花き、特産の部会活動を通じて、GAP（農業生産工程管理）の取組強化、新品種・新技術（ICTの活用）の普及支援、技術の高位平準化など生産対策についての活動を行うとともに、次代を担う生産者の育成、活動について支援を行う。

- ①各生産部会の活動支援、若手生産者セミナーの開催
反収アップセミナー、部会活動活性化支援
- ②施設園芸スーパーコーチ派遣による施設園芸生産者の技術・経営のイノベーション支援
スーパーコーチによる集合指導、ほ場での技術指導
- ③関係機関・団体と連携した「いちご王国戦略」の展開
県産いちごの関係者一丸となった総合的な戦略にもとづき実践
- ④いちご「スカイベリー」・「なつおとめ」の産地育成およびブランド化
栽培技術向上によるブランド確立
- ⑤いちごICT事業（スカイベリー食味等生産技術確立事業）
食味向上に向けての関係者間の栽培データ共有化

- ⑥「いちご王国グランプリ」、「トマトグランプリ」、「なしグランプリ」の開催
良食味生産技術レベルの高位平準化
- ⑦にら産地No.1 奪回運動の展開および需要対応力の高い野菜産地の育成支援
にら、アスパラガス等の生産振興支援
- ⑧優良果樹苗木の確保と普及推進
県育成品種の生産拡大支援
- ⑨とちぎの花の産地育成とPR活動
花きイノベーション事業と連動した県産花き生産拡大およびPR
- ⑩こんにゃく・かんぴょう等特産品の産地育成および消費拡大
生産者会員の協力を得た特産料理講習会開催による消費拡大
- ⑪生産者大会等の開催
生産拡大のための県内統一の取組支援等
- ⑫栃木県オリジナル品種の種苗許諾管理
スカイベリー、とちひめ、なつおとめ、おりひめ、栃木芳香1号・2号、
栃木r2号・3号等

2 販売戦略等策定支援事業 15,305千円（前年14,995千円）

消費者から求められる県産農産物“とちぎブランド”及び地域マーケティング協議会と連携した地域ブランドについて、県内外へブランドPRを行う。

- ①リーディングブランドを中心としたとちぎブランド向上対策支援
ロゴマーク・キャッチコピーの普及・広報活動、栃木県肉用牛総合共進会
- ②「とちぎ和牛」認定、PRおよび商標管理
とちぎ和牛認定促進
- ③地域の農産物ブランド管理
地域ブランド農産物認証制度の登録更新
- ④県内外へのブランドPR及び販路開拓活動支援
地域マーケティング協議会との連携・支援

3 県産農産物に関する情報の受発信事業

25,170千円（前年21,554千円）

県産農産物のイメージアップ、販路拡大を図るため、リーディングブランドを中心に栃木の農産物等を総合的にとらえたイベント、消費拡大・宣伝活動を実施する。また、消費者や実需者、流通関係者及び生産者に対し、協会ホームページや情報誌及び各種メディア等を積極的に活用するなど生産から流通、消費に至るまでの情報を総合的に受発信する。

- ①とちぎブランド農産物消費宣伝および情報発信
各種媒体を活用
- ②とちぎのうまい米消費拡大推進事業
なすひかり、とちぎの星等栃木オリジナル品種の消費拡大

- ③とちぎ和牛消費拡大PR支援事業
とちぎ和牛の継続的な消費および利用拡大
- ④とちぎの「にっこり」プロモーション推進事業（新規）
リーディングブランドとしての牽引力をより強固なものとするべく、「にっこり」の情報発信・販促イベント強化
- ⑤とちぎフレッシュメイトを活用した県産農産物のイメージアップとブランド化の推進
3名体制でとちぎの農産物をPR
- ⑥「とちぎの産地消推進店」（県内）・「とちぎの旬彩店」（首都圏）の登録推進・管理、クチコミ隊の運営管理
県産食材の利用促進、情報提供、情報発信
- ⑦牛乳、乳製品等の普及推進

4 多様な流通への対応事業 17,999千円（前年24,074千円）

首都圏及び観光地のホテル・旅館等において県産農産物の魅力を伝えるセミナーを開催するとともに、特色ある農産物の産地案内を行うほか、とちぎ自慢の食材を味わうキャンペーンの展開を通じて、とちぎの食の魅力の浸透と利用促進を図る。

また、農産物輸出については、関係機関・団体と連携を図りながら、安定的な輸出の拡大並びに新たな輸出先の開拓に取り組む。

- ①栃木の農産物との絆の創出支援
農産物の魅力伝えセミナー・産地視察会の開催
- ②農産物輸出拡大支援
農産物輸送試験、県育成品種の商標登録
- ③農産物輸出拡大サポート
輸出促進員の設置、海外バイヤー招へい

5 特別会計事業

国の資金を活用した「花きイノベーション」事業については本体事業とあわせて特別会計により継続して取り組む（5年目、詳細は30年6月開催の総会に付議予定）。